



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社バリューHR 上場取引所 東  
 コード番号 6078 URL https://www.valuehr.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 美智雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室管掌 (氏名) 藤田 源太郎 TEL 03-6380-1300  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	3,259	3.5	481	△8.7	463	△13.9	271	△23.4
2019年12月期第3四半期	3,147	20.2	526	35.4	538	156.9	354	187.7

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 305百万円 (△22.5%) 2019年12月期第3四半期 394百万円 (186.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	22.90	22.63
2019年12月期第3四半期	29.94	29.52

(注1) 前年同四半期と比較して、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が減少している理由については、添付資料の2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(1) 経営成績に関する説明」をご参照ください。

(注2) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	11,990	2,714	22.6	227.80
2019年12月期	11,829	2,593	21.9	218.92

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 2,704百万円 2019年12月期 2,591百万円

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	13.00	—	20.00	33.00
2020年12月期	—	7.50	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	10.00	17.50

(注1) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。なお、2019年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しており、株式分割前換算で2020年12月期の年間配当金合計予想は35円となり、実質2円の増配となります。

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,465	4.2	711	△5.0	732	△9.1	422	△23.6	35.68

(注1) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想については、本日（2020年11月13日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(注2) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2020年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

注) 詳細は、添付資料の7ページの「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	12,188,800株	2019年12月期	12,155,600株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	317,042株	2019年12月期	317,042株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	11,847,330株	2019年12月期3Q	11,824,761株

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付資料の3ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (1) 経営成績の状況

当社グループの事業領域においては、世界各地での新型コロナウイルス感染拡大、日本国内においても5月の緊急事態宣言の全面解除後も継続的に感染者数が増加している中で、従業員一人ひとりの健康管理と労働生産性の維持・向上に向けた健康増進の重要性が一段と高まりを見せております。

また、企業における従業員に対する健康管理（健診受診と保健指導の実施、メンタルヘルス対策や過重労働対策等）への取り組みは、かねてから継続している働き方改革の実践や健康経営・健康投資の推進といった観点、加えて安全配慮義務、生産性向上、企業価値向上の観点からも、ますます強化される傾向にあります。

このような環境のもと、当社グループは「健康管理のインフラを目指す」を事業ビジョンとして、健康保険組合、企業、個人を対象に、独自のシステムを用いた健康管理サービスを以下の2つの事業セグメントにより展開しております。

#### バリューカフェテリア事業

独自に開発したバリューカフェテリア®システムを用いて、健康保険組合の保健事業（福利厚生事業）のトータルの運営支援と企業の福利厚生の省力化と効果的運営支援を提供しております。また、健康管理に付随する事務代行サービス、並びに健診機関への業務支援サービス等で構成されております。

#### HRマネジメント事業

主に健康保険組合運営のより効率的な支援と、健康保険組合の新規設立支援のコンサルティング、及び人材派遣やBPOサービス等の業務で構成されております。

当第3四半期連結累計期間は、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、当社と契約している各医療機関の健康診断の実施受け入れ等が減少となりました。これにより、健診予約システムの利用及び、健診予約代行業務、健診結果入力代行業務、健診費用精算代行業務の処理件数が減少いたしました。また、カフェテリアプランの旅行やエンタメ等のサービス中止により、売上が減少いたしました。しかしながら、7月以降は健診受診者数が回復しており、前年を上回る受診者数の増加となりました。また、特定保健指導業務は、ICT面談が堅調に推移しております。その他、新規顧客の獲得や既存顧客からの受託業務も増加しており、堅調に推移いたしました。健康管理に関する事務代行サービスの強化と今後の需要への対応のための増員等により費用が発生しております。また、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同四半期に比べて減少した主な要因は、前年同四半期において発生した一過性の投資有価証券売却益が発生しなかったことによります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,259,304千円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益は481,266千円（同8.7%減）、経常利益は463,685千円（同13.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は271,317千円（同23.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### バリューカフェテリア事業

当第3四半期連結累計期間は、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、当社と契約している各医療機関の健康診断の実施受け入れ等が減少となりました。これにより、健診予約システムの利用及び、健診予約代行業務、健診結果入力代行業務、健診費用精算代行業務の処理件数が減少いたしました。また、カフェテリアプランの旅行やエンタメ等のサービス中止により、売上が減少いたしました。しかしながら、7月以降は健診受診者数が回復しており、前年を上回る受診者数の増加となりました。また、特定保健指導業務は、ICT面談が堅調に推移しております。また、前第1四半期連結会計期間におきまして、一過性の大型システム開発案件の受注がありましたが、当第1四半期連結会計期間以降において同様の大型システム開発案件の受注はございませんでした。これにより、売上高は2,496,714千円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益は726,461千円（同9.4%減）となりました。

#### HRマネジメント事業

当第3四半期連結累計期間は、前期に受注した健康保険組合の設立支援コンサルティングの継続対応に加え、新規設立の健康保険組合運営支援業務等の受注が増加しました。これにより、売上高は762,589千円（前年同四半期比16.0%増）、営業利益は193,584千円（同32.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,805,947千円(前連結会計年度末は3,143,569千円)となり、337,622千円減少しました。これは、その他流動資産に含まれる未収入金87,001千円増加しましたが、現金及び預金が432,428千円減少したことが主な要因です。固定資産は9,185,006千円(前連結会計年度末は8,686,382千円)となり、498,624千円増加しました。これは、その他有形固定資産(純額)に含まれる建設仮勘定が511,148千円増加及び投資その他の資産に含まれる長期貸付金が83,340千円増加したことと、建物及び構築物(純額)が30,585千円及び投資その他の資産に含まれる投資有価証券が81,054千円減少したことが主な要因です。これらの結果、総資産は11,990,953千円(前連結会計年度末は11,829,951千円)となり、161,002千円増加しました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,110,795千円(前連結会計年度末は3,519,860千円)となり、409,064千円減少しました。これは、短期借入金が131,109千円、その他流動負債に含まれる未払金28,742千円及び前受金が100,743千円増加しましたが、買掛金が55,474千円、支払代行に係る預り金が483,780千円及び未払法人税等が135,721千円減少したことが主な要因です。固定負債は6,165,888千円(前連結会計年度末は5,716,263千円)となり、449,624千円増加しました。これは、長期借入金が424,707千円及び株式給付引当金が15,640千円増加したことが主な要因です。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,714,270千円(前連結会計年度末は2,593,827千円)となり、120,442千円増加しました。これは、資本剰余金31,162千円、利益剰余金が63,581千円及びその他有価証券評価差額金が34,673千円増加したことが主な要因です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日(2020年11月13日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、新型コロナウイルス感染症により、当社と契約している各医療機関の実施受け入れに影響が出たことから、主にバリューカフェテリア事業において厳しい事業運営を強いられる展開となりました。一方で、7月以降は健診受診者数が回復しており、前年を上回る受診者数の増加、及び特定保健指導業務はICT面談が堅調に推移しております。

新型コロナウイルス感染拡大の収束の見通しが立たない中で、継続して当事業への影響が続くことが想定されることから、現時点で把握し得る情報に基づいて、通期業績予想の修正をいたしました。なお、今後の影響によって修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。

「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,364,210	1,931,782
売掛金	408,552	407,765
商品	1,598	1,702
仕掛品	4,058	2,514
貯蔵品	31,288	45,332
その他	333,861	416,849
流動資産合計	3,143,569	2,805,947
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	836,223	805,637
土地	6,224,802	6,224,802
その他(純額)	527,289	1,033,842
有形固定資産合計	7,588,315	8,064,283
無形固定資産	304,782	331,904
投資その他の資産	793,283	788,818
固定資産合計	8,686,382	9,185,006
資産合計	11,829,951	11,990,953
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	110,480	55,006
短期借入金	256,335	387,445
未払法人税等	204,028	68,306
預り金	1,630,672	1,146,892
その他	1,318,342	1,453,144
流動負債合計	3,519,860	3,110,795
固定負債		
長期借入金	5,547,610	5,972,317
株式給付引当金	-	15,640
その他	168,653	177,929
固定負債合計	5,716,263	6,165,888
負債合計	9,236,124	9,276,683
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	529,344	536,582
資本剰余金	573,256	604,419
利益剰余金	1,740,260	1,803,842
自己株式	△317,437	△341,362
株主資本合計	2,525,424	2,603,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,323	100,996
その他の包括利益累計額合計	66,323	100,996
新株予約権	2,079	5,148
非支配株主持分	-	4,643
純資産合計	2,593,827	2,714,270
負債純資産合計	11,829,951	11,990,953

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,147,567	3,259,304
売上原価	1,902,626	2,038,105
売上総利益	1,244,940	1,221,198
販売費及び一般管理費	717,981	739,931
営業利益	526,958	481,266
営業外収益		
受取利息	10	208
受取配当金	3,409	4,077
投資有価証券売却益	33,671	938
補助金収入	3,438	7,926
その他	4,398	3,184
営業外収益合計	44,927	16,334
営業外費用		
支払利息	29,254	29,472
その他	4,125	4,443
営業外費用合計	33,379	33,916
経常利益	538,506	463,685
特別利益		
新株予約権戻入益	498	-
特別利益合計	498	-
税金等調整前四半期純利益	539,004	463,685
法人税等	184,919	192,524
四半期純利益	354,084	271,160
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△156
親会社株主に帰属する四半期純利益	354,084	271,317

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	354,084	271,160
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	40,723	34,673
その他の包括利益合計	40,723	34,673
四半期包括利益	394,808	305,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	394,808	305,991
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△156



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	バリューカフェ テリア事業	HRマネジメント 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,490,005	657,561	3,147,567	-	3,147,567
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,490,005	657,561	3,147,567	-	3,147,567
セグメント利益	802,240	146,102	948,343	△421,384	526,958

(注) 1. セグメント利益の調整額△421,384千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	バリューカフェ テリア事業	HRマネジメント 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,496,714	762,589	3,259,304	-	3,259,304
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,496,714	762,589	3,259,304	-	3,259,304
セグメント利益	726,461	193,584	920,045	△438,778	481,266

(注) 1. セグメント利益の調整額△438,778千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。